

# 令和5年度 衛生工学部門 技術士合格体験記

エクシオグループ株式会社  
山本 晃康様



## “技術士試験で得た経験は必ず将来役に立つと思う”

### ◎受験動機

私は、廃棄物処理施設、バイオマス発電施設等のプラントの設計を業務としています。発注者様、コンサルタント、メーカー、工事業者など利害関係者が多くコミュニケーションも求められる業務です。**技術系で高く評価される技術士を意識していたほか、技術士を目指す際に得られる専門的知識や考え方により、若手に模範を示すことができる**と考え受験しました。衛生工学部門の選択科目は、廃棄物資源循環となります。

### ◎筆記試験突破講座の受講

本試験は、**限られた時間内で論文作成する訓練が必要になり、大半の人が独学で合格するのは難しいのではないかと思います**。「これが正解！」という回答はないので、第三者に評価して頂き、試行錯誤を重ねて論文を作成できる能力を身に付けることが必要です。

私は主に、技術士試験突破対策講座での論文添削により受験準備をしました。初めは課題、解決策を記載するコツを掴めなかったほか、誤字や文章表現の手直しが多く、**添削を通じて細かく講師の方に指導して頂きました**。普段PCで文章を作成することに慣れてしまっているの  
で、手書きで原稿用紙に記載する練習が必要です。

**6月に模擬試験があり、実際の試験の試験時間と時間配分の感覚を身に付けることができました**。また、日頃から業務を通じて、専門分野の国の動向、最新技術などを調査して知識として整理していくことが重要です。

### ◎口頭試験対策講座の受講

口頭試験は合格率が高いですが、不合格だと合格率の低い筆記試験から再受験しなくてはな

らないという大変プレッシャーがかかる試験です。私は、筆記試験結果が分かる10月末まで口頭試験の対策はしておりませんでした。口頭試験は12月～1月にかけて実施され、筆記試験の結果が出てから1か月程度と準備期間は長くありません。筆記試験が終わった後も自己研鑽も兼ねて、計画的に口頭試験の準備しておく気持ちに余裕が持てると思います。

**対策講座や企業内技術士の交流会である相互学習会で口頭試験の模擬面接を行うことにより、様々なアドバイスを頂き、口頭試験の流れ、聞かれる質問、コンピテンシーの考え方について身に付けることができました**。口頭試験は、二次試験申込時に提出する業務経歴・業務内容がベースとなります。申込時の経歴は、試験の一部と認識して、口頭試験を見据えて面接官が見た時に理解しやすいように記載する必要があります。

本番での質疑は、技術士に求められるコンピテンシー、技術者倫理の確認であり、知識を問われる質問はありませんでした。口頭試験は、業務経歴のプレゼンと質疑の想定問答集の準備をすることで対応できます。

### ◎おわりに

合格率は60%であり、完璧な論文を完成する必要はありません。初めは論文作成することは難しいと思いますが、添削を通じてアウトプット（論文作成）、インプット（調査、推敲）を繰り返せばある程度は書けるようになります。

最近はYouTubeなどでも試験対策を視聴することもできるので、自分にあった勉強方法を探すのが良いと思います。**技術士試験で得た経験は必ず将来役に立つと思いますのでチャレンジしてみてください**。